

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名【新】南飛驒健康増進センター改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内3316)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,901 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,901	0	0	0	0	0	0	0	1,901
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

南飛驒健康増進センターは、令和6年4月をもって供用開始から20年が経過するが、来訪者が気軽に楽しみながら様々な健康法を学習・体験・実践できる「県民の健康道場」として、県民の健康づくりの促進に寄与している。

今後も、県民の健康づくりを促進していくうえで、同センターの安全性確保や機能維持は必要不可欠であることから、計画的に施設の修繕工事等を実施する。

(2) 事業内容

- 令和6年度 チラーユニット改修更新工事実施設計 1,901千円

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,901	実施設計委託
合計	1,901	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○県有施設中長期保全計画

令和6年度：チラーユニット改修更新工事（設計）

令和7年度：チラーユニット改修更新工事

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

県有施設中長期保全計画に基づく計画的な改修のため、県費による負担が適当である。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設にかかる事業であるため、県による実施が妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県有施設中長期保全計画に基づき、修繕が必要な状態となる前に計画的に改修を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

老朽化による修繕のため、指標を設定することは困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3:期待以上の成果あり
- 2:期待どおりの成果あり
- 1:期待どおりの成果が得られていない
- 0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

南飛騨健康増進センターは令和6年4月をもって供用開始から20年が経過しており、今後も老朽化による修繕等が必要となる。

(次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

南飛騨健康増進センターの今後の在り方を検討しつつ、必要な修繕等を実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など